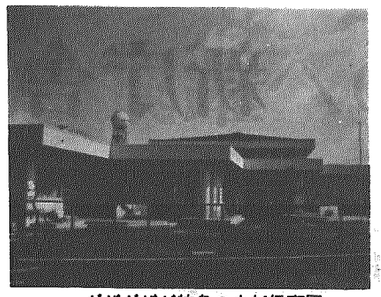
自然採光を配慮　ノコギリ型の間取り
ユニークな小杉保育園

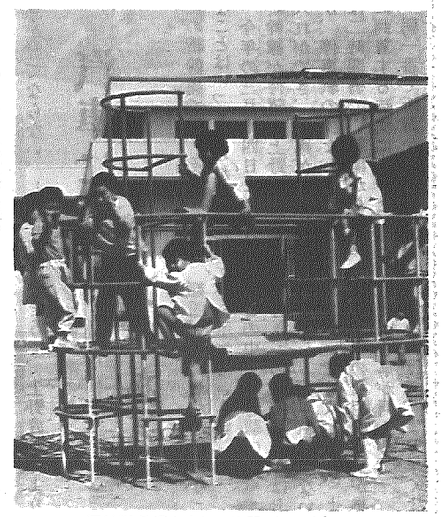

ギザギザが特色の小杉保育園

昨年九月から建設が進められてきた小杉保育園が三月末に完成し、四月一日開園、八日には入園式が行われ、園児たちは、ピカピカの豪華な保育園で元気いっぱいはしゃぎ回っています。

同保育園は、一、九七二平方㍍の敷地に鉄筋コンクリート平屋建て、延べ五七〇平方㍍の広さで、定員六十人を収容できる施設。

遊戯室を中心に左右に保育室二、乳児室、事務室、医務室、調理室などがあり、遊戯室は床下暖房となっています。屋外遊戯場にはプール、ブランコ、鉄棒、雲梯子、ジャングルジムを備えたデラックスなもの。

また、建物の造りがユニークで、各室に十分な自然採光を配慮して、突出部分が多く、建物全体がノコギリ型。建物中央部の遊戯室の屋根は、正四角錐の赤い屋根、白い外壁の上部に赤いラインが巡らされ、モダンで粋な建物です。


屋外遊戯場も楽しい施設がいっぱい

総事業費(土地購入を除く)一億一、九三六万円で、国・県補助金のほか、国民年金還元融資を受けています。

村のようす
<60年3月末日現在>

総人口		9,007人
うち	男	4,361人
	女	4,646人
世帯数		2,055世帯
3月の動き	出生10	死亡 9
	転入66	転出58

公共下水道　11億円余投じ通水
進渉率22.5%、汚水管渠6,684m

公共下水道の通水式が四月十七日、新庁舎隣りの特設会場で、浅見村長、田村議長、山田県下水道課長、高杉新潟土木事務所長らによって通水のテープカットと清めの儀が行われました。

横越村の公共下水道事業は横越、二本木の市街化区域を中心に進められ、事業認可面積八九㌶、受益戸数一、〇〇〇戸、汚水管渠延長二八、八六九㍍、雨水管渠延長三、九五五㍍、総事業費四二億円で、昭和六十七年度を目標に五十五年度から川根谷内地区を皮切りに工事が始まりました。

六十年三月末現在の公共下水道事業の進渉状況は、二二・五%、汚水管渠の整備延長六六八四㍍、供用開始可能面積二一㌶で、これまで一一億二〇〇万円の経費が費やされてきました。

供用開始は、すでに、五十九年十月一日から川根谷内地区の川下郷、下郷、笊木、上郷の一部が、六十年四月一日から同地区の梅ノ木、上郷の一部と横越中地区の新田郷の一部で下水道ができるようになり、三月末で、一四戸が水洗化しています。

汚水、雨水の終末処理は、新潟市下山に、新潟市東部、亀田町、横越村の三市町村を流域処理区とした処理場が五十五年に一部が完成し、繰業をはじめています。

汚水管渠に清めの儀をする浅見村長と山田県下水道課長

横越村の交通事故発生件数
(60年2月末日)

	発生県数			死者		負傷者	
	本年	前年	増減	本年	前年	本年	前年
横越村	6	3	3	0	0	7	3
南署管内	30	27	3	0	0	37	32
県計	791	961	△170	18	6	995	1,194

5月保健衛生業務予定

月日	曜	時間	内容	対象者	会場	対象
5月2日	木	PM1:30～PM2:30	三種混合第1期	S57.10.1～58.3.31生れ以前の未接種も接種可	横越村公民館	全村
13日	月	PM1:30～PM2:30	ツベルクリン反応検査	S59.2.1～60.1.31生れ以前の未接種も接種可	〃	〃
16日	木	PM1:30～PM2:30	BCG	ツベルクリン反応検査で陰性のもの	〃	〃
21日	火	AM9:30～12:00	離乳食講習会	59年12月60年1月生れ	〃	〃
22日	水	PM1:30～	乳児検診	59年5月10月60年2月生れ	〃	〃
27日	月	PM1:30～	1才6ヵ月児検診	58年9月10月11月生れ	〃	〃
29日	水	PM1:30～PM2:30	三種混合第1期	S57.10.1～58.3.31生れ以前の未接種も接種可	〃	〃

おめでた

新生児	親名	地区
仲村　裕美	敏博	二本木中
永井　智見	国男	横越上

(3月届)

献血にご協力を！5月13日
午前10時～12時　横越村農協
午後1時～4時　㈱塚田牛乳

■歳時記■ゴールデン・ウィーク

四月二十八日から五月六日までの間、日曜日や祝日、振替休日と、休日が続きますが特にこの週をゴールデン・ウィーク（黄金週間）と呼ぶのは、なぜでしょう。

この言葉を現代用語を解説した本の外来語の索引で探しましたが、見あたりません。そういえば、これは和製英語だったと気づいてほかを探しましたが、それでもなかなか見つからず首をひねっていたところ、なんと映画産業の欄で探しあてました。

ゴールデン・ウィークという言葉は、もともとは映画や演劇の興行界や遊園地などの観光業界で使われていた業界用語だったのです。つまり、この週は興行・観光業界のかきいれ時、という意味でこの言葉を使っていたようです。

もっとも、今は一般の人々も「今年のゴールデン・ウィークはどこか旅行にでも……」などと連休の代名詞として使われるようになっています。

ところで、祝日のほとんどは、昭和二十三年七月三十日に「国民の祝日に関する法律」によって決められました。その後、四十八年四月十二日に振替え休日が決められ、日曜日と祝日が重ならないようになりました。

最近、企業ではゴールデン・ウィークを一週間ないし十日間続けての大型連休としているところが増えています。

連休の過ごし方は、人それぞれでしょうが、五月は自然に親しむにはもってこいの季節。新緑を見たり、山菜を採ったり、野鳥の声を聴くのも楽しいものです。

高橋勝平さん一位に
一〇a当たり七・八㌧の良質粗飼料
県転作飼料コンクール

高橋勝平さん

昭和五十九年度県転作飼料コンクールで、横越下高橋勝平さん（四二）が見事一位となりました。

高橋さんは、奥さんの正子さんと水田二㌶、転作畑六七㍍、飼料畑一五㍍、搾乳牛一〇頭を飼育する酪農と水稲の複合経営農家。

コンクールで一位となった飼料づくりは、青刈りトウモロコシを七〇㍍作付け、十㍍当たり七・八㌧の収量をあげ良質で安上がりの粗飼料を作り、搾乳量の向上に努めているもの。

排水の良い阿賀野川河川敷を中心に青刈りトウモロコシを作付け、十㍍当たり六㌧のたい肥と一二〇㌔の石灰、三大要素を元肥に入れて耕起と整地を行っています。

種子は、「ゴールドデント九〇三」を五月六日十㍍当たり二・六㌔をまき、九十四日目で刈り取りました。刈り取り時の草丈は三㍍余で、最高収量が十㍍当たり七・八㌧になりました。

この生産費は、十㍍当たり四万七五〇〇円余で、六・五トンのサイレージができたので、一㌔当たり七円三一銭と安上がりな粗飼料となりました。

高橋さんの飼料づくりは、三十戸ほどの酪農家と一貫して作業機械の共同利用で、コスト低減に努めています。

人権擁護委員に
岩橋光御さん再任

昭和六十年三月十五日付けで大字横越の岩橋光御さん（五九）が、再び法務大臣から人権擁護委員として委嘱されました。

本村の人権擁護委員には、岩橋さんのほかに、大字小杉の長瀬正稔さんが委嘱されています。

委員は、国民に保障されている基本的人権を擁護し、自由人権思想の普及、高揚を図るために置かれているものですが、私的制裁、名誉信用等の侵害、村八分、教育を受ける権利の侵害、強制圧迫、酷使虐待、生活権の侵害などの問題でお困りの方は、無料で、他にもれることは絶対にありませんので、安心して、気軽にお出かけいただき、ご相談ください。

岩橋光御さん　☎二三〇七
長瀬正稔さん　☎二二二〇

おめでとう

新郎	新婦	地区
鈴木　保	「近藤」和子	小杉中
中川　敏弘	「丸山」京子	新潟市
宮澤　弘昭	「坪谷」康子	小杉上
川上　義和	「丸山」美千代	木津中
山田　章夫	「山田」裕子	川根谷内
永井　亮茂	陸洋輔	新潟市
内山　友里	羽賀浩史	弥彦村
皆川　智美	三代栄信	二本木
阿部　勇介	横越中	横越上
坂井雄太郎	高志一朗	川根谷内
長谷部小夜子	横越上	横越上

(3月届)

おめでとう

故人	年齢	地区
青木トキエ	52	木津下
高橋　ハナ	74	川根谷内
島原新一郎	78	沢海中
皆川　スミ	84	藤山
宮澤　作平	85	小杉上
神田　孝一	90	横越中
清田　宗一	74	沢海下
伊藤　作三	55	沢海中
鈴木　ミヱ	89	小杉中

(3月届)